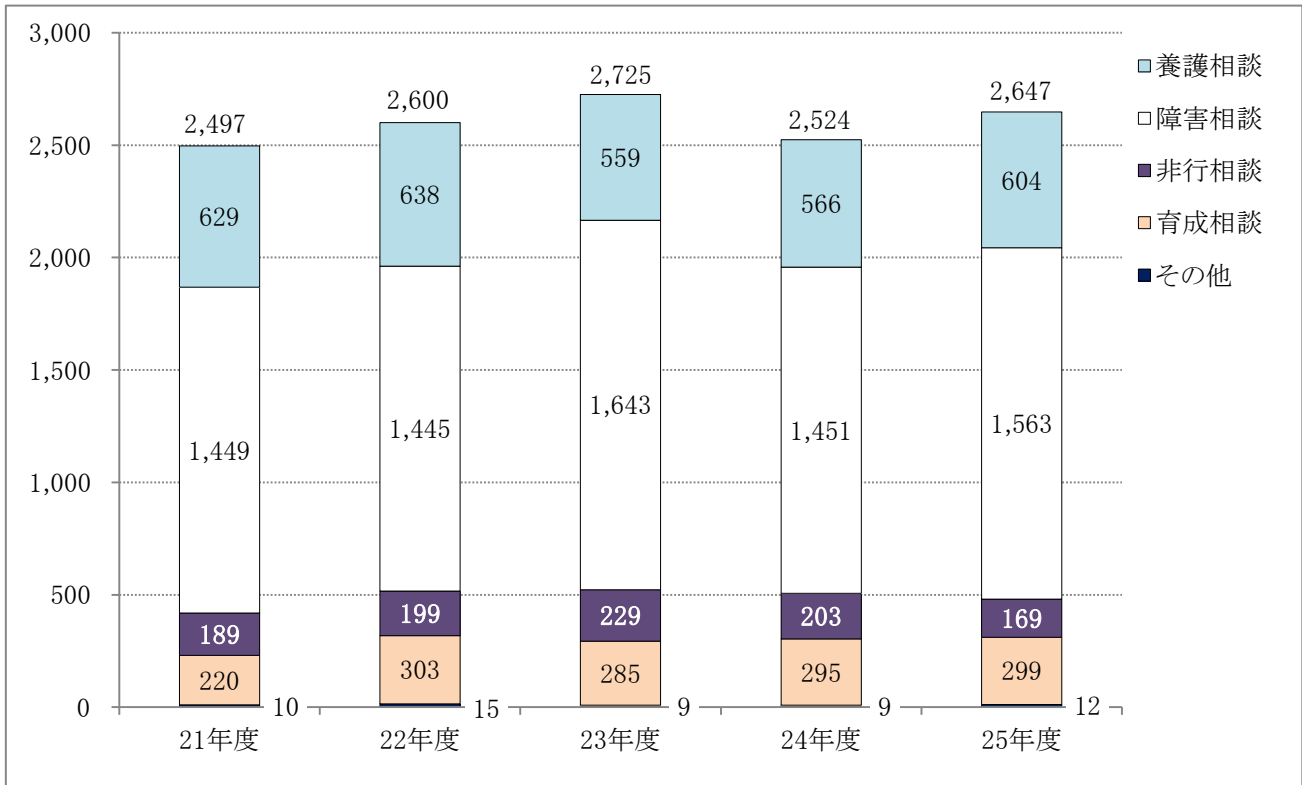
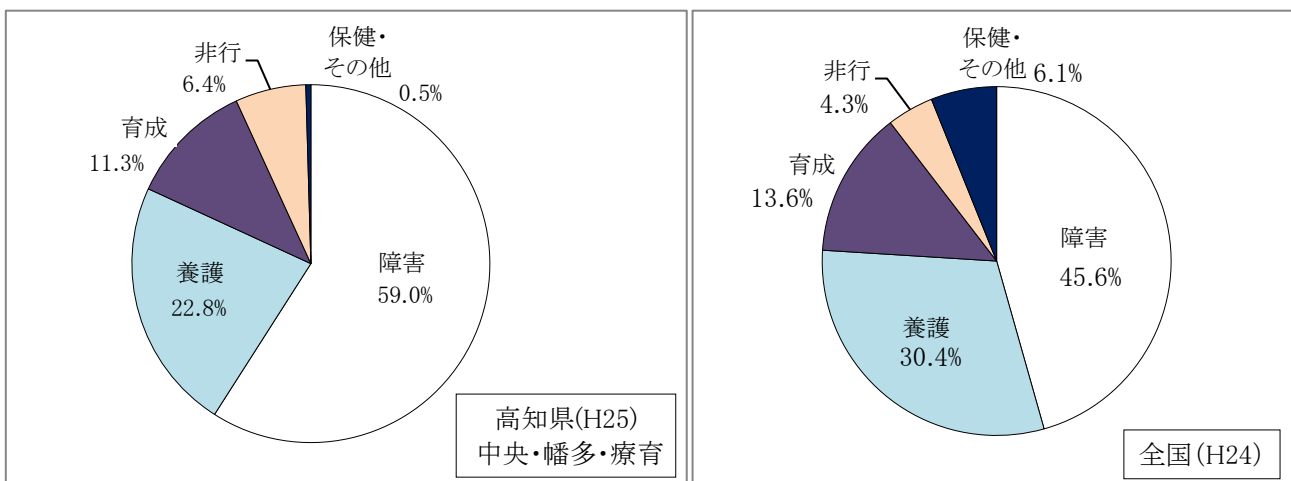


○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当しているため、同センター取扱い分を加えて比較している。

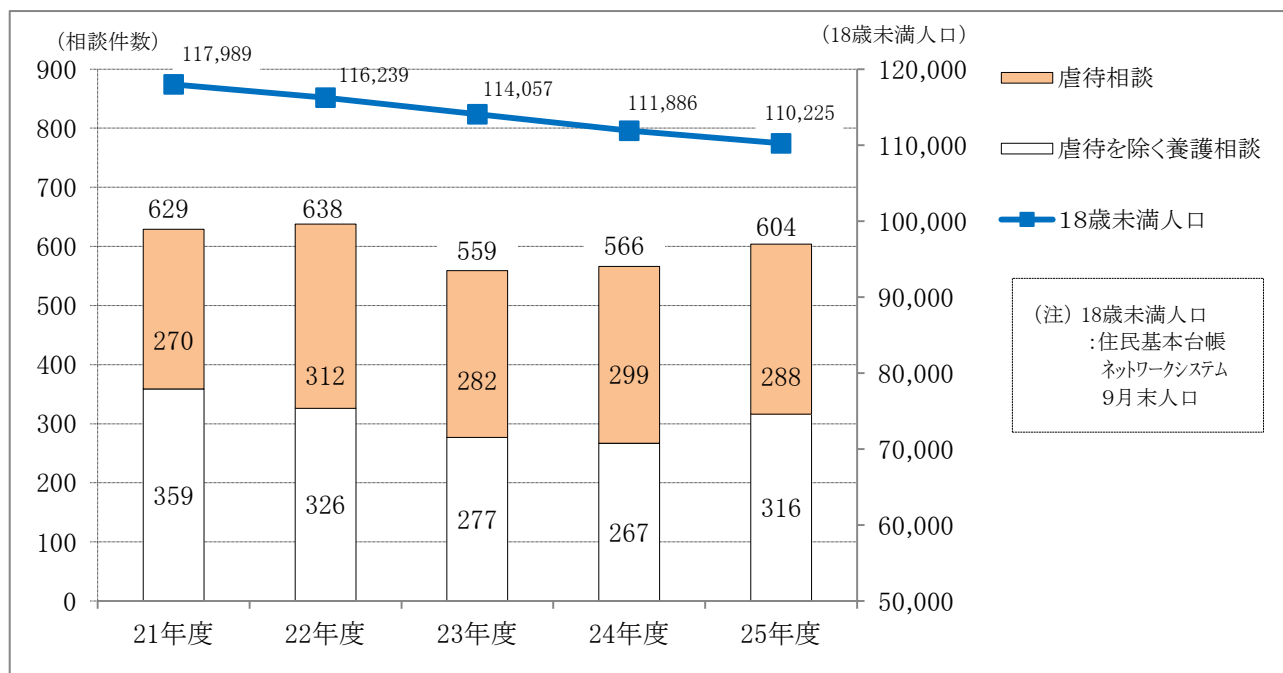
○相談種類別構成比の全国との比較



* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



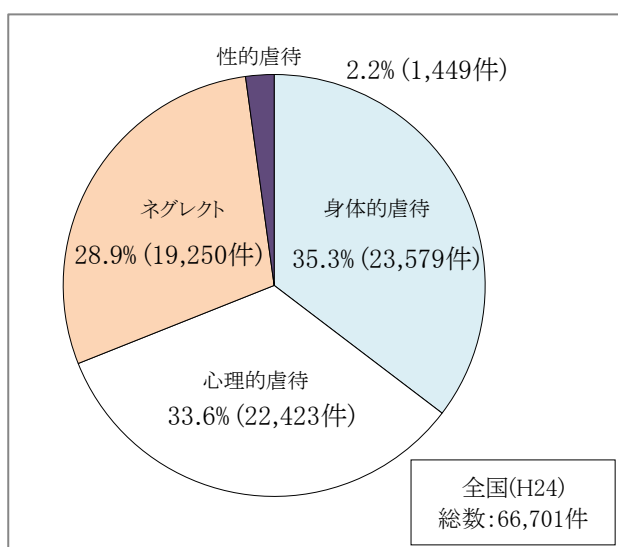
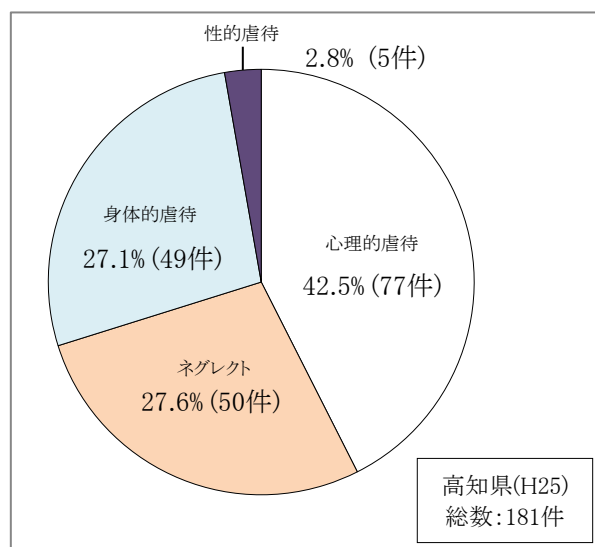
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(平成25年度)

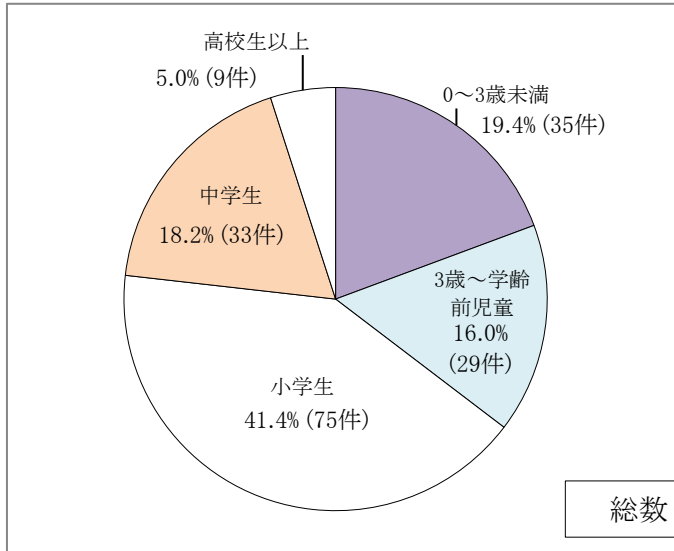
(1) 児童虐待相談件数 (※対応件数: 相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受付件数	270	312	282	299	288
対応件数	155	142	116	153	181

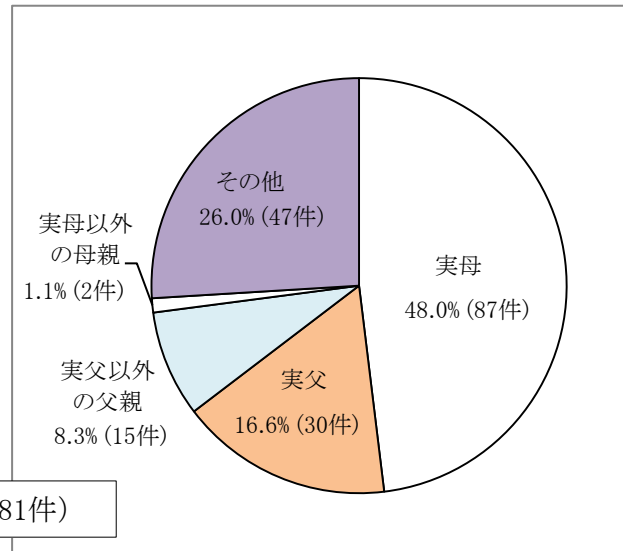
(2) 虐待の種類構成割合



(3) 被虐待児の年齢別構成割合

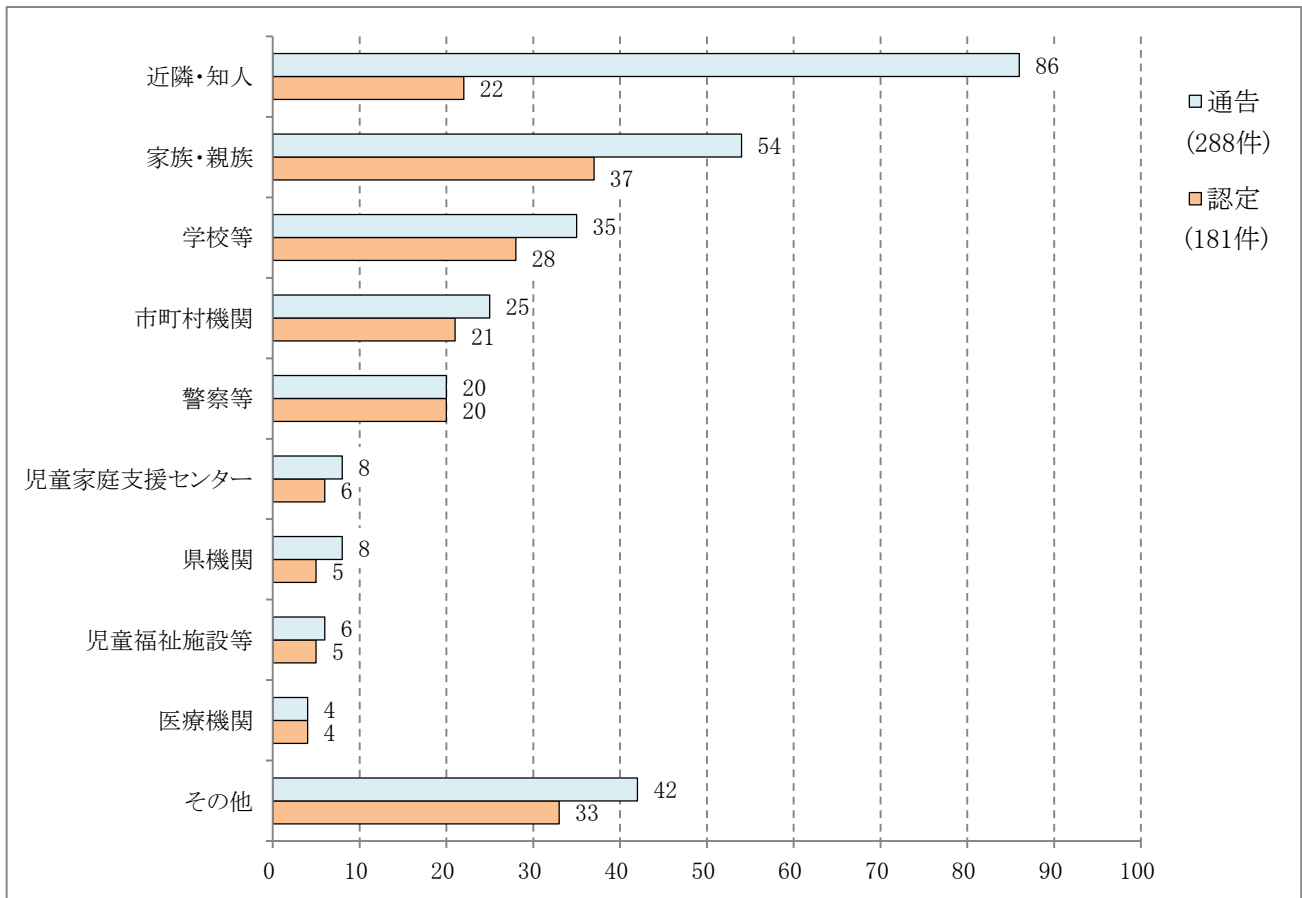


(4) 主たる虐待者



(注) 『その他』は(養継父母含む)両親 (33件)、内縁男性(6件)、実母と内縁男性(3件)、実母と祖母(2件)、祖父(1件)、叔母と彼(1件)、養祖父母(1件)

(5) 虐待通告及びそのうちの認定・対応ケースの経路別件数

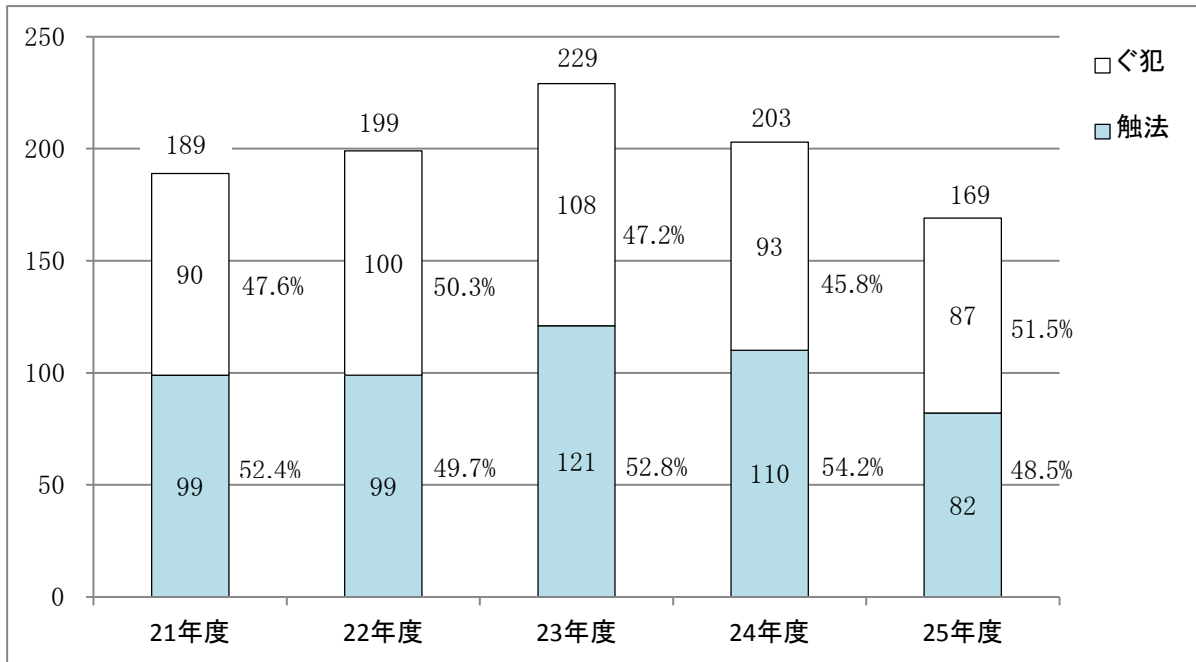


(注) ※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった288件、及びそのうち児童虐待として対応した181件について分析したもの。また、虐待として認定されたもののうち、2件が一時保護中のため次年度の件数として持ち越された。

※その他は他県児童相談所やきょうだいケースで虐待認定したもの。

3 非行相談

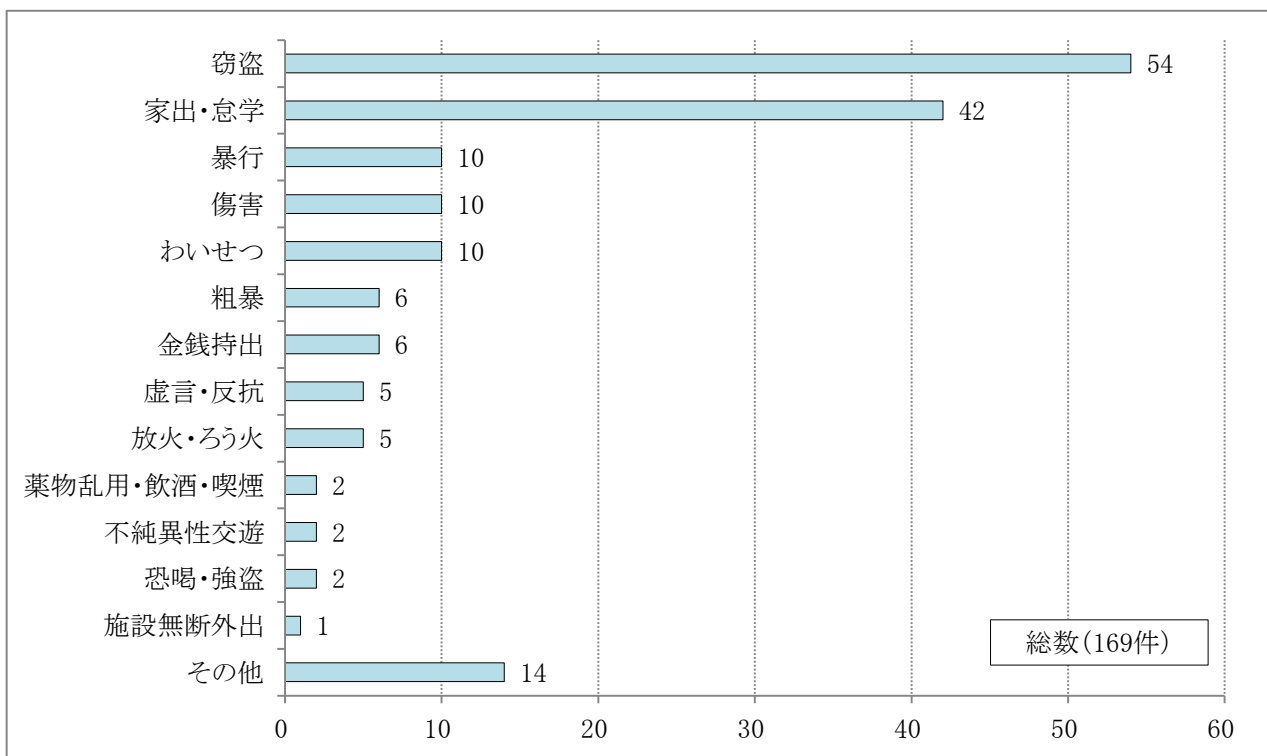
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(平成25年度)



(注) 『その他』の主な内訳：器物損壊(9件)、傷害企図、占有離脱物横領、盗品譲り受けなど(各1件)